

# 和地ひとみレポート No.347

将来



令和2年度予算は賛成多数で可決。下水道事業会計は公営企業会計に予算体系が変更。

## 財政硬直化に対し様々な工夫と取捨選択を

### ■令和2年度の予算は

…3月11日と12日の2日間、来年度予算特別委員会が開催されました。通常は3日間の日程の予算特別委員会ですが、新型コロナウイルス対策対応の関係で、市長の予算説明などを書面で配布し、時間を短縮。質疑については通常通り行われ、最終的には賛成多数で令和2年度予算は可決となりました。

…令和2年度の予算規模は507億6,678万円(昨対3.5%増)。しかし、来年度から下水道事業については公営企業会計に移行するため、前述の数字は下水道事業会計を従来の官庁会計で換算した合計金額となっています。(裏面の予算一覧表もこの方式で明記)

### 【公営企業会計の来年度の下水道事業会計の概要】

公営企業会計では収益的収支と資本的収支に大別される。

#### ◇収益的収支＝下水を処理するための収入と支出

(現金支出を伴わない費用を含む)

収入:17億4,705万円 支出:17億7,687万円

#### ◇資本的収支＝下水道施設を整備するための収入と支出

(すべて現金支出を伴う)

収入:6億6,535万円 支出:11億3,937万円

### ■最重要施策は

…令和2年度予算は、昨年の選挙での市長の公約を反映して作成された初の予算。令和2年度の予算の最重要施策は市長の公約と同様の「日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまち」とされていました。

“シニアが活躍できる”ということの意味については「シニアが経験や知識を活かして活躍できること」とのこと。一方、この重要施策に対し優先的に予算配分した事業として子育て関連は多く挙げられていたものの、シニア関連は「市民の健康づくりの推進に係る経費(市制50周年)」しか見当たりませんでした。

…“活躍”という言葉には幅広い意味があると思いますが、市民協働やサロン活動、世代間交流などの場や機会の創造というも「シニアが活躍できるまち」の実現には必要。この重要施策について令和2年度の予算はどのように組み立てたのかを私は市に確認しました。

…市の答弁では、『シニアが活躍できるまち』を実現するためには、まず、健康であることが重要であると考え、予算では、健康寿命の延伸を目指し『健幸都市宣言』の発表や、身体を健康な状態に保つ食生活の定着を推進する『快腸プロジェクト』の取組に係る予算を計上するとともに、既存事業の予算において『健幸都市の実現に向けた東大和市健康寿命延伸取組方針アクションプラン』で定めた取組などを行う。」とのことでした。

### ■財政硬直化と将来負担がアップ

…令和2年度予算では、財政調整基金(市の貯金)を当初予算から10億353万円取崩しています。これは、予算編成過程においての検討のうえ、実施が必要な事業の必要額に対し、貯金を取り崩さなければ予算が組めなかったということです。

…今回の予算の年度末の財政調整基金残高見込みは10億1900万円ほどで、東大和市の直近の標準財政規模の約168億円の10%に届きません。市の行政改革大綱では「少なくとも標準財政規模の10%を維持することを目標としている」中、今後、どのような対策を講じるつもりか市に確認したところ「将来的な予算編成や財政運営のため、今年度の決算剰余金が生じた場合には、それを活用して、標準財政規模の10%程度の残高となるように積み増しを行いたいと考えている。」とのこと。

…また、令和2年度は、包括施設管理業務委託、納税管理及び徴収補助等業務委託に加え、学童保育所運営の民間委託など、額の大きな債務負担行為(数年間にわたって支払うことが決定しているもの)が追加されたため、将来に渡る財政負担が2%アップ。昨対で10%以上もアップした今年度予算にさらに上乘せられています。また、義務的経費(行政が義務的に行わなければならないことに対する経費)の比率も過去最高となっています。民間委託することでのサービスや作業効率の向上は期待できますが、この予算からは、財政の硬直化が進んだことが伺えます。市が民間委託業務の効果をしっかり検証することは、は今まで以上に重要となってきます。

### ■気になる事業も…

…令和2年度予算には「組織・定員の最適化や業務の効率化に向けて、全庁的に業務の内容や量、プロセス等の分析を行う」新規事業も計上されていました。これは地方行政の業務の増加と複雑化に対し、市では人員不足を課題としていることを受けてのもの。私が以前から分析を行うように提言していたことが実施されます。この事業に対しては、内部統制やIT化の視点も入れて分析するように市に要望しました。

…良い事業も多く計上されていた予算ですが、気になる事業も。毎年、開催されている『平和市民の集い』で旧日立航空機(株)の変電所にプロジェクションマッピングを投影し、戦争の悲惨さと平和の尊さを市内外に発信するというものです。この事業内容を私は確認しましたが「876万円の経費で投影時間は10~15分程度。来年度1度限り」とのこと。市の平和事業の取組をPRすることは良い事ですが、財政難の市の状況を考え、費用をかけない工夫をしてほしいと市には要望しました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102

## ■令和2年度予算の財政規模(金額単位は千円)

会計名	令和2年度	平成31年度 (当初予算)	増減額	増減率	
一般会計	32,144,000	31,011,000	1,133,000	3.7%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	8,627,880	8,769,184	▲141,304	▲1.6%
	土地区画整理事業特別会計	4,788	49,520	▲44,732	▲90.3%
	介護保険事業特別会計	7,837,356	7,151,100	686,256	9.6%
	後期高齢者医療特別会計	2,152,756	2,090,703	62,053	3.0%
特別会計合計	18,622,780	18,060,507	207,645	1.0%	
総合計	50,766,780	49,071,507	1,695,273	3.5%	
下水道事業会計(公営企業会計)★	2,132,121	2,082,150	49,971	2.4%	

## ■一般会計歳入予算(金額単位は千円)

		予算額	構成比
①市税	市民税個人・法人、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税など	12,617,012	39.3%
②国庫支出金	子育てや福祉関連など国の政策に関連した取組みに対する国の負担分などの交付金など	6,297,918	19.6%
③都支出金	子育てや福祉関連など都の政策に関連した取組みに対する都の負担分などの交付金など	5,597,939	17.4%
④地方交付税	自治体間の財源の不均衡を調整するために国から交付されるもの	1,580,000	4.9%
⑤地方消費税交付金	地方消費税の一部を財源として、人口と従業者数で按分し、都から交付されるもの	1,871,976	5.8%
④繰入金	積立基金(≒市の貯金)の取り崩し	1,053,535	3.3%
⑤市債	地方財政の一般財源を補てんする市債や市の大規模事業に充てる市債(借入金)	1,544,300	4.8%
⑥その他	繰越金、行政財産の目的外使用料、利子割交付金、自動車取得税交付金や過年度事業の精算に伴う収入など	1,581,320	4.9%

## ■一般会計歳出予算(金額単位は千円)

		令和2年度	平成31年度 (当初予算)	比較	昨対 増減率
議会費	市議会運営のための費用	296,607	298,828	▲2,221	▲0.7%
総務費	防犯対策や市役所の運営の費用	3,331,288	3,245,493	85,795	2.6%
民生費	高齢者や障害者、児童福祉などのための費用	17,620,936	17,470,518	150,418	0.9%
衛生費	保健や予防、ごみ処理などのために使われる費用	2,390,134	2,365,397	24,737	1.0%
労働費	中小企業労働者への融資に要する費用	3,020	3,020	0	0.0%
農林業費	農業の振興などのための費用	65,183	53,319	11,864	22.3%
商工費	商工業の振興などのための費用	124,887	135,949	▲11,062	▲8.1%
土木費	道路や公園、下水道(雨)の整備などのための費用	1,563,015	1,697,898	▲134,883	▲7.9%
消防費	災害対策などのための費用	1,285,111	1,441,770	▲156,659	▲10.9%
教育費	学校や図書館、公民館の運営などのための費用	3,683,377	2,619,333	1,064,044	40.6%
公債費	借入金の返済のための費用	1,742,781	1,641,952	100,829	6.1%
諸支出金	基金の積立など、その他の費用	7,661	7,523	138	1.8%
予備費		30,000	30,000	0	0.0%
歳出合計		32,144,000	31,011,000	1,133,000	3.7%

## ■各家庭が収める税金の使途(金額単位は円)

使途	主な内容	金額	割合
民生費	高齢者や障害者、児童福祉などに使用	¥55,896	41.1%
総務費	防犯対策や市役所の運営などに使用	¥20,536	15.1%
教育費	学校や図書館、公民館の運営などに使用	¥16,864	12.4%
公債費	借入金の返済のために使用	¥12,104	8.9%
衛生費	保健や予防、ごみ処理などに使用	¥11,832	8.7%
土木費	道路や公園、下水道の整備などに使用	¥9,928	7.3%
消防費	災害対策などに使用	¥5,440	4.0%
議会費	市議会運営のために使用	¥2,176	1.6%
農林業費・商工費	農業や商工業の振興などに使用	¥1,088	0.8%
労働費・諸支出金等	—	¥136	0.1%
合計	—	¥136,000	100%

市民税(個人)の歳入予算額をR2年1月1日現在の世帯数39,117世帯で割ると、約136,000円(昨対▲1000円)になります。それを、各家庭が1年間に収める税金の額とした場合の使徒別の金額は右記の通りです。(上から多い順)